

ALUMINIUM NEWS

アスカ工業株式会社アルミニウムニュース

第 631 号

2014 年 1 月 1 日

発行

アスカ工業株式会社

〒444-0303

西尾市中畑町卯新田上28

謹 賀 新 年

年 初 偶 感



アスカ工業株式会社

取締役社長 天 野 卓

2014年、謹んで新年のお喜びを申し上げます。吉例によりまして、最近感じましたことを述べて、新年のご挨拶とさせていただきます。

*

思ったことを、齒に衣を着せずに言い放ってしまう評論家の悲しい性から、イスラム諸国を敵に回してしまった猪瀬東京都知事も、さすがにオリンピック招致のプレゼン本番に際しては、厳戒態勢の中では、余計なことは言わせてもらえませんでした。それが功を奏して、みごとに2020年の東京オリンピック招致決定に繋がりました。

このオリンピック招致のプレゼンで感銘したのは、皇族の威光と秘められた個々の能力の高さです。政治利用への良し悪し議論のある中ですが、想像でしかなかった皇室外交の影響力のすごさを映像を通して実

感させられた瞬間でもありました。

昨年末に発表されました平成25年の世相を表す漢字は「輪」でありました。この東京オリンピック招致のニュースが大きく印象に残ったことと、2020年までの景気上昇の下支えになってほしいという国民の

期待の表れでもありませんでしょうか。

もうひとつ別の「輪」に関して、昨年12月中旬の朝日新聞「天声人語」に次のような話が載っていましたのでご紹介します。

*

少年少女の目が悪くなっている。文科省がおととい発表した調査

では、高校生の65.8%が裸眼視力1.0未満だった。これまでで最多の割合という。ゲームやスマホが目の負担になっている可能性があるらしい。時代は変わった。

若者ばかりではないけれど画面を見つめっぱなしの人が街にあふれる。ソーシャルネッ



トワーク（SNS）でどこかにつながっている人々である。いまや日本は「つながりすぎ社会」だという議論を本紙文化面とデジタル版で読んだ。

哲学者の千葉雅也さんと評論家の浅田彰さんの対談だ。新進気鋭の千葉さんは、最近はやりのLINEなどを通じた過剰な「接続」がむしろコミュニケーションを空疎にし、形骸化させていると指摘する。どこかで断ち切ることが必要ではないか、と。

社会の中で孤立する人が増える一方で、つながりすぎが心配される。矛盾した現象では多分ないのであろう。「個」であることと、人の輪をつくること。二つのことを各人の中で調和させる。それが大切であり、かつ難しいのだろう。

時には独り灯火に親しみ、書をひもとく。数多ある先人の優れた文章を味わう。若い人に勧めるとすれば、誠に月並みなことになる。目を痛めないようほどほどに、と付け加えつつ。

*

現実社会では「個」を求めて個々の行動範囲が狭くなる。一方でSNSを介してアクセス範囲はどんどん広がっていく。怖い

のは、この中に非現実社会が多分に含まれていることで、ともすればこのバーチャルな世界に浸ることで行動範囲があたかも広がったかのように錯覚していることです。

組織として、不安に感じるのは、実際に口から言葉を出してしゃべる会話が苦手な人が増えて、一旦ぎくしゃくとしてしまうと人間関係を修復する仕方もわからない。そういう状況に陥ると、また、バーチャルの世界に逃げ込めばよいという悪循環の繰り返しでどんどん現実世界から離れて行ってしまふ。

今後はSNSでつながる「輪」を現実生活へ大いに活用して、希望ある未来へ自分の足で進んで行く人が増えてくることを祈ってやみません。

*

円高が修正され、輸出競争力は付いたものの、まだ燃料高、原料高に追われる日々は続きますが、お陰様で新工場での生産も順調に進み、旧工場跡地の開発も始まりました。今後より一層、皆様に愛される企業として努力してまいる所存ですので、益々のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

アサハンアルミニウム インドネシアから撤退

日本とインドネシアによるアルミニウム製錬事業、アサハン・プロジェクトから日本が撤退することが決まった。

日本側投資法人の日本アサハンアルミニウムとインドネシア政府は12月9日日本側が株式をインドネシア政府へ売却、撤収を発表した。

アサハン・プロジェクトはインドネシアのスマトラ島のアサハン川に巨大ダムを作って発電、上流のトバ湖は琵琶湖の2倍という水量を持ち、豊富で安価な電力を利用してアルミニウム製錬工場を建設、インドネシア経済の発展と、日本のアルミニウム地金の安定供給という大目的で、1975年に両国の合意が出来、4千億円以上の巨額の公的資金が投入された。

日本側は、住友化学など製錬5社と6商社がインドネシア・アサハン・アルミニウム（イルナム）に共同出資した。

アルミニウム地金生産能力は年間25万トン、うち6割に当る15万トンの地金を日本へ輸出してきた。この量は日本のアルミニウム消費量の6パーセントに

三河 万才

西尾市西野町に伝承される「三河御殿万才」は、全国に数ある万才のうち、平成7年12月に国の重要無形民俗文化財に指定され、新春には欠かせぬ風物になっている。

ルーツは諸説があるが、実相寺(現存)の応通禅師が鎌倉時代に宗へ渡り、雅楽曲を伝えたと云う説が有力である。

この版画は西尾市立西尾小学校児童の作品で、例年立派な版画カレンダーを製作している。これは新年カレンダー1月のさしえ。

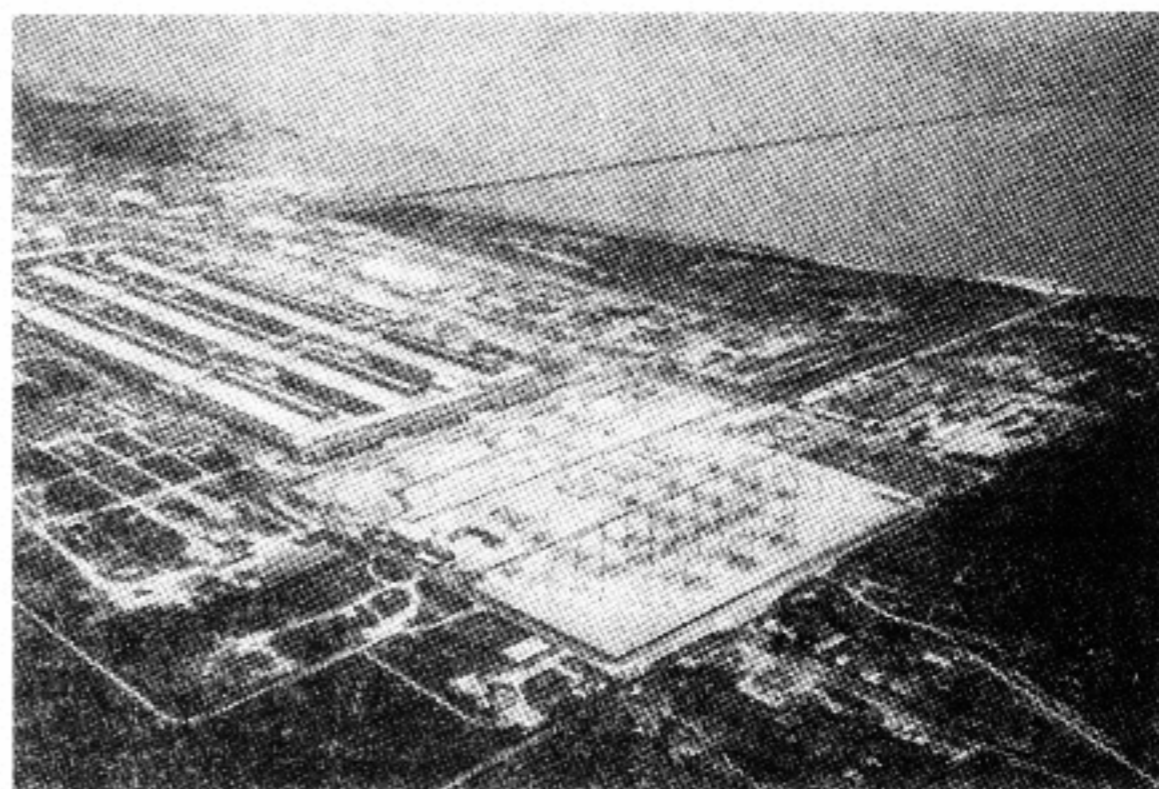


相当する。

生産がスタートした1983年以降、円高の進行と、アルミニウム地金の国際相場の低迷など経営環境に恵まれず、1975年の総工費は2,500億円とされていたが、1977年には4,110億に膨らみ、日本側はこの内8割の3,600億円を、経済協力資金1,000億を含めて負担した。さらに日本政府は2度にわたり再建支援を行ったが赤字が一時13億ドルにまで拡大した。

2004年ごろから業績は安定してきたが、操業後30年で日本から出資分をインドネシアが買い取るという基本合意が存在した為、今回、日本側の株式売却呈示額6億ドルを下回る5億5,670万ドル(570億円)で合意、正式に撤退が決定、製品は全量国内向けとなる。

アサハン・アルミニウム製錬工場



新春 商売繁昌 交通安全 祈願会

1月17日三ヶ根観音

第30回新春商売繁昌・交通安全祈願会は、来る1月17日（金曜日）に三河湾国定公園吉良海岸の吉良観光ホテル（写真）と三ヶ根観音において行われるはこびになった。

アスカ工業株式会社の原料納入事業所の代表80名は吉良観光ホテルに参集、天野久会長の「午年を占う」と題する新春放談を聞き、その後バスで三ヶ根山頂に登り、三ヶ根観音で商売繁昌と交通安全の祈願会を開催する。



社内情報

◎年末に行われました社員総会で、皆勤賞の表彰が行われ、下記の皆さんが受賞いたしました。

皆勤賞 鋤柄裕太・永田康彦・山内文治
足立哲章・飯田ジェルソン・鈴木要郎
亀山真奈美・谷 亜由美・稲垣八重子
準皆勤賞 永田規雄・鈴木 浩・戸松智洋
鈴木太輔・児玉祐里

◎皆さんお目出とう。新年も健康で頑張りましょう。

編集後記

☐新年明けましてお目出とうございます。本年も旧年に引きつづき、一層のご支援をいただきますよう、社員一同心からお願い申し上げます。

☐ダイカスト業界、砂型鋳物業界ともに高操業で越年いたしました。まことにご同慶に堪えません。

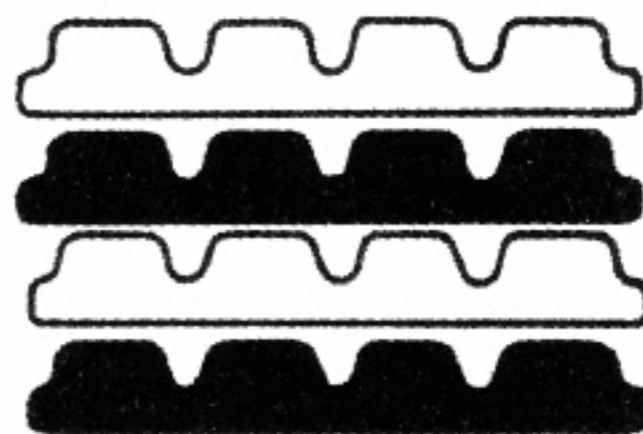
☐新工場へ移転、操業開始から1年半が経過いたしました。皆様のご支援のおかげで、高品位製品の高能率生産の目標が達成でき、本年は更に飛躍をいたす覚悟です。ご期待下さい。

アルミ缶リサイクルング 鋳造用アルミニウム合金地金

アルミニウムそのものでは強さ、加工性などの点で不十分で、銅、シリコン、マグネシウム、亜鉛、鉄、マンガン、ニッケル等を用途に応じて添加合金しますと、非常に優れた強さ、鋳造し易さ、加工し易さ、耐熱性などが得られます。添加金属は非常に微量の場合もあり、そのため厳重な品質管理が要求されます。当社では発光分光分析装置を使用して、迅速・正確な品質管理の下で非常に優れたアルミニウム合金を作り、日本の産業の発展に寄与しています。

ISO 9001 審査登録

アスカ工業株式会社



〒444-0303

愛知県西尾市中畑町卯新田上28

TEL <0563> 77-0500(代)

FAX <0563> 77-0501

<http://www.al-asuka.jp/>